

地上天国

コンクリートとコンピューターに囲まれ、時間にと奪られ、
それでも自分でバランスを取って生きないと、すぐに軸が
ブレてきて、外と内のつながりがうまくいかず、せん長田が
やさしい人、素直な人から傷付き、大切にしてきた部分
まで見失い、拳げくの果てに、体調を崩し……

戦後70年、アメリカに見守られ、無条件的な権利を
押し付けられたこの島国 ジャパンにおける資本主義
は、果たして日本人の事を想ったのか、アメリカのエゴの
固まりなのか、現状の“モノ”のある、ある豊かさ”作っては
捨て、買わせは捨てさせ、人間さえもゴミの屑に扱わ
れる全く心を失ってしまった社会、教育、これが、70年
かけてつちかわれた理想的な天国なのか？

コンクリートとあまわれたいなれば、春はたにさの命
が芽吹き、人間にごほうびを与える木の葉に、目たに
さの色がとび込んで来る、食べれる草も自然に生え、
生きてゆくに助け船を出すように、人間を克としくれといふ、
灰色の世界に灰色を着て、体のいい企業戦士といふ言葉
に操られ、それを信じた人たちは、この青春盛り、佳境盛り、
人間としてまたまたのびしろだらけの30、40代の男子を、
自分では何もできない、コンビニが、ケタイがないと
生きてゆけない、●●●● 70年ぶりに人間に仕上げる、
土をツクと思ふかドロと思ふか。草を雑草と思ふか
お宝と思ふか、菌を殺菌スプレーで殺すのか、育てて発酵
させるのか、実は、この世は、人間のためにあるんじゃないかと
と金儲けするくらい、人間の手助けをしとくれといふ。

た。鼻クソみた。な黒いつぶを土に置くだけで、土や土の中の菌や微生物が育ちて来て、ミニジンや大根になる。人肉が作るなんでもおこがまし。自然が勝手にやってくれている。野草や山菜も、頼みでもいな。のに生えてくる。しかも、食べられる。おいしい。

そんな空の山を、コンクリートで埋めつくす。漁たらし生命の宝庫なのに、わざわざ壊す。

どんだけお金になろうか。人肉がお金を作るのに都合がいいように作り変えられた今の現状は、や。悪いことと悪いことが約束を守らねえバランスを考えて作られたとは思い難く、自分たちのせいで、涙のお陰でどれだけの生命活動を封印してきたのだらうか。

人肉が人肉らしさをとり戻す。コンクリートを一枚はがすか、自分で一枚めくられるか。100%コンを捨てる。自分のカンを信じられるか。でも、傷みなければ稼ぎがな。稼ぎがなければ生きと中けな。…果たしてどうか？ 実は金も曹年々としていいるこの地球にフタをしていいるだけで、本当はすべてここに有る。実はスーパーゼ。泥なのに。

資本主義は、労働の対価がお金で、お金さえあれば何でもできる。そう思い込ませ、ものごあるある革命リッチで、リッチが偉いとされてまたけい、よくよく見ると、僕ら全員がお金なんやな。これも実は、生きとはいける。食うには困らぬ。木葉にいつでも手助けしてくれといるませ。土や土天国の中にいる。自分も、自然も、自然も突然できとほじけと思えたことごとく、まおは少しずつ、灰色より、木葉彩色へ。スーパーハイビジョンとんじけな。これも、この世はもうもうの天国です。